



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ

2022～2023 年度 高山中央 RC 会長テーマ

イマジン ⇒ アクション ～止まった時間を動かそう！～



◆会長 中田 学 ◆幹事 二木 公太郎 ◆会報委員長 西 美紀 ◆会報担当 高木 純

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席数	Make-up	出席率
本日 1319 回	56 名	56 名	41 名	—	73.21%
前々回 1317 回	56 名	56 名	35 名	6 名	73.21%

- 点鐘
- ロータリーソング
- 四つのテスト
- ビジターゲストの紹介(オブザーバー出席)
(有)丸山建築 丸山 泰正 様
- 会長挨拶 会長 中田 学

こんにちは！ 会長の時間です。

4月になりまして、今月は、「母子の健康」月間です。かなり漠然としたテーマですが、とても大切なテーマで、そこには、何か多くの問題がありそうですが、私も、何となくピンとこなかったもので、少し調べてみました。

毎年、5歳未満で命を落とす子どもは、世界で、推定590万人で、その原因は、栄養失調、適切な医療や衛生設備の欠如など、どれも予防が可能なものばかりだそうです。

予防可能なことが原因で、母と子どもが命を落とすことなどは、あってはならないですし、母親が強く、健康であれば、その家族も強く健康になり、貧困と飢餓も和らいでゆくという考えの下、国際ロータリーは、すべての母子が質の高い医療を受けられ、そして、出産で命を落とす母親がいなくなり、子どもがすくすくと成長できる、そんな世の中になるように、支援活動を行っています。

具体的には、母乳に関する母親への指導、予防接種と定期健診の推進、防虫加工の蚊帳の配布などの「赤ちゃんを守るための支援」

清潔な出産キットの配布、安全な出産方法に関する保健従事者の研修などの「妊婦さんが安全な環境で出産できるための支援」、適切な研修を受けた医者、看護師、助産師など、医



療従事者による「移動クリニックへの支援」など、様々な方法で母子の健康を推進しています。また、女性を対象に、HIV 母子感染の予防、病気の予防に関する教育も行っています。

ロータリーの活動とは少し離れますが、ひとつ、凄く良いなあと思ったのは、妊婦さんに渡される「母子健康手帳」が世界標準になっているようで、これを使うと、乳幼児死亡率が明らかに低下したことが実証されていて、現在、日本の「母子健康手帳」をモデルに、WHO が作成指針を作り、これに沿って作られた、この「母や子の健康状態を記録する手帳」は、約世界 80 カ国で使われ、大いに活躍しているそうです。

ユニセフの『世界子供白書』によれば、出生 1000 人当たりの 5 歳未満児死亡率が、100 人以上の 12 カ国は、全てアフリカで、50～100 人の 39 カ国は、アフリカが 25 カ国、残りは中東、インド、パキスタン、東南アジアだそうです。

一方、日本を含めた欧米の先進国は、ほとんどが、5 人以下で、日本は 3 人ということだそうです。このように、日本の母子保健は、世界最高水準にある一方で、現在、少子化の進行、晩婚化・晩産化、未婚率の上昇、核家族化、育児の孤立化、子どもの貧困、母子の健康格差などの、これまでとは違う新たな課題が生じています。

これから、私たち、日本のロータリアンは、世界の課題に加えて、このような日本の現状を、十分認識して、日本の「母子の心の健康問題」に取り組まなければならないと思いましたし、これは、今、声高に言われている社会課題である「少子化問題」の解決にも、大きく、かつ密接にかかわっていると感じました。

最後になりますが、高山市内、コロナ、随分落ち着きました。ただ、だいぶ春めいてきて、眠かったりボーっとしたりすることもありますので、車の運

転や作業に注意していただいて、変わらず、体調管理にもお努めいただくことをお願いして、会長の時間とします。

よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

●幹事報告 幹事 二木 公太郎

◎国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所より

- ・教師部会開催のご案内

日時：5月14日（日）14：00～17：00

会場：大垣フォーラムホテル

- ・財団室ニュース

- ・次期会員増強研修セミナー開催のご案内

日時：5月13日（土）11：00～14：45

会場：岐阜グランドホテル

登録料：8,000円

出席義務者：次期会長/次期幹事/次期会員
増強委員長/入会3年未満会員

◎国際ロータリー第 2630 地区ガバナーエレクト事務所より

- ・2023 年度地区大会スケジュール（案）のお知らせ

基調講演 RI 会長代理晩餐会

11月17日（金）

地区大会

11月18日（土）

○米山梅吉記念館より

- ・館報 2023 春号
- ・賛助会ご入会のお祝い
- ・春季例祭のご案内

○高山ロータリークラブより

- ・例会変更のお知らせ
- 4月27日（木）定款により休会

<会報>

- ・高山RC

●会員維持増強委員会

委員長 前越 路子

今日は、オープン例会として、会員ではない方々にロータリーの例会を経験していただこうと思ひ企画いたしました。丸山建築 丸山泰正様、本日はありがとうございます。

本日は、チャーターメンバーでいらっしゃる平林英一さん、三枝祥一さん、劔田廣喜さんに私とロータリーと題してお話ししていただき、当クラブで



最も長くロータリアンとして活躍していらっしゃる方々からロータリーについて学ぶことができると思っています。今年度は、新入会員の方も多くその方々がロータリーの理解についての一助となればと思っています。

●「私とロータリー」 「ロータリー活動通しての今思うこと」 平林 英一

高山中央ロータリークラブ誕生して 32 年本当に早いものです。入会の動機は 40 歳代になる年であり、仕事、家族だけでなく違う出会いで人間としての責任、人間力の成長と新しい発見、勉強



は大げさかもしれないが両親の了解なしで入会したことを覚えています。

人間力に関しては相当興味深い性格で良いにつけ悪いにつけロータリーを通じて楽しんでます。当然会員は表現はうまく言えませんが人の上に立つ立場であり、また人を育てる立場になるべきであり、周りの人たちを自分以上に幸せにしなければならぬ位置を目標にすべきだと思います。

当然 1 番に家族でありきでしょうが。

4 つのテストに出会ったとき感動したことを覚えています。記憶違いかもしれませんが、IM で発表したような気がします。

「真実かどうか、みんなに公平か、好意と友情を深めるか、みんなのためになるかどうか」

当時、4 つのテストについてこんなことをいう方もいました。本音かどうかはわかりませんが、仕事をする上では逆さまでと。笑いを生んだことを記憶しています。

これは逆に 4 つのテストを受け入れるまた、実行できる人間力を指すのであり、幸福感の価値観には人それぞれですが、年齢とともに当たり前の意識で持つべきであると思います。

前回の例会で会長エレクト岩本さんのお話で、思い出しました。

本人は覚えていないかもしれませんが入会してからロータリー入会してメリット何にもないけどと、仕事のこともなだとすぐ感じましたが、当時私自身は「それは違うぞ」を覚えています。

その後、仕事にも人間関係においても大きく変わり、素直に振り返れることは、もしかしたらロータリーが、人間力を大きく育てているのかもしれない。

私はよく人として尊敬するのは、子供だと、言います。

子供の素直な感性、わかりやすい行動と言動、知恵

がつくと、よく言えば成長かもしれないが早い子は大人社会に付度を覚えます。

人としての価値観だから物差しを凶るものではないが、年を取ると、立場の違うたくさんの人との出会い、また親しく大事に思う人の

死という別れが大きく自分を振り返ることを生みます。

幸せとは、自分の幸福の追求ではないこと、答えは自分自身の環境によって違うとは思いますが、格好よく生きたいものです。

ロータリーにはいっぱいヒントがあるように思います。ロータリー活動、そして、ロータリー仲間とも交友関係が、良い意味での人間を育てるといっても過言ではないでしょう。

自分にとって善い人、悪い人ではなく、「知る、感じることに価値があるということです。

私も 70 代 人様に、嫌われる人にはならないよう、でも、しっかりと孫にも子供夫婦そして妻にも格好よく付き合っていきたいと思えます。

「私とロータリー」

三枝 祥一

高山中央 RC 創立は 1991 年 5 月 20 日ですが、それより数か月前、今のセガワールドの裏あたりにあった「グロブナーハウス」に初代幹事今は亡き溝際清嗣氏らから集合がかけ



「今度高山に新しいロータリークラブができるので、ぜひ一緒にチャーターメンバーで活動しよう」と誘われました、当時私は薬屋の会社勤めを辞め、今の保険業を始めたばかりであり将来への不安を抱えておりました、しかしながら、溝際さんの言葉「数多きロータリアンの中でもチャーターメンバーはひと握り、お金も月 2 万円くらいでできるから」とうまく丸め込まれました。

そして、創立メンバーに加わったのですが、それから 10 月 13 日の認証状伝達式（チャーターナイト）に向けての大変な準備活動に入りました、連日連夜千島町の田口隆平さんの会社へ集まり式典関係や祝賀会のやり方について喧々諤々と話し合いました。祝賀会場に中田金太さん所有の平成の屋台を並べたりその周りには祭提灯を配置し食事は高山祭をイメージして五種盛をメインに計画をいたしました、今、32 年間のロータリー活動を振り返り楽しい思い出ばかりでありますし、よくぞ 32 年前誘っていただいた溝際清嗣先輩に感謝の気持ちでいっぱいあります。

「オープン例会にて」

剣田 廣喜

今日はオープン例会と言う事で、高山中央 RC に入っていただきたい方々に来ていただいたと思います。別名お試し例会と言ってロータリークラブとはどういうところか体験していただき入会していただくという企画であります。



皆さんが会場に来られて感じられたのは、年寄りが多いという事ではないでしょうか？

高山中央 RC の平均年齢は 60 才を少し超えたぐらいだと思います。ですからロータリーと書いて何と読む、私はロータリーのローは老人のローと呼んでいます。

では何故ロータリークラブは高齢化したのかと言うと、年寄りが長生きしているからではなく、若い人の入会がすくないからです。その原因は、人口動態と言う超えられない壁はありますが、ロータリーの魅力が理解できてないところにあるのではないかと思います。そこで、ロータリーの魅力、メリットについてお話したいと思います。ロータリーで一番成果を上げたのはポリオ根絶運動です。35 年間この活動に取り組み 99.9%まで根絶し、常在国は、パキスタンとアフガニスタンの 2 カ国になりました。此のほかにも国連とは浅からぬ関係がありますので世界各地での平和活動や人道的問題への取り組み行われています。

ロータリーにはいろんな側面がありますが、原点は

ロータリーは人生をどうとらえるべきか、あるいは、どのように生きていくべきか{人生哲学を学ぶところ} だと思います。

ロータリーの先輩・友人のおかげで私の今日があります。

若しロータリーの会員に選ばれていなかったら、若しロータリーで巡り合えた友人たちがいなければ私の人生はどうなっていたであろう、そこに生ずるのは身の引きしめるような感謝の念と歓喜であります。

私を育ててくれたロータリーに深く感謝しながら、老いを老いとして引き受けながら歩んでまいりたいと思います。(2510 地区 PDG 塚原房樹 来し方行く末 参照)



<4月のお祝い>

<会員誕生日>

松之木 映一	S 25年	4月 7日
劔田 廣喜	S 24年	4月18日
大原 誠	S 30年	4月18日
直井 宏文	S 51年	4月23日
鶯塚 英雄	S 29年	4月26日

<夫人誕生日>

西倉 良介 淳子	4月 8日
----------	-------

<結婚記念日>

二木 公太郎	H 26年	4月 3日
下田 徳彦	H 11年	4月 4日
清水 幸平	S 56年	4月 5日
岩本 正樹	S 61年	4月 6日
橋本 修	S 49年	4月 7日
中田 学	H 4年	4月11日
西 美紀	S 60年	4月28日

<ニコニコ BOX>

本日のオープン例会にご参加頂きました丸山君を心より歓迎致します。 **理事役員一同**

先週の会長エレクトの時間は人間味あふれる素晴らしいスピーチでした。来年度の活躍に大いに期待したいと思います。 **橋本 修**

4/2 と 4/3 は 3 人の孫の誕生日で昨日一緒にお祝いしました。ケーキにアイスクリーム夜はしゃぶしゃぶと食べ過ぎでまた太りました。孫たちはいつも笑いと楽しさをまき散らしてくれます。私も元気であることに感謝してニコニコへ。 **平林 英一**

